



お目当ての本は見つかりましたか？ 第十三回としょかんまつりを開催

2月5日(日) 第十三回としょかんまつりが開催され、恒例となった「古本市」には、町内外から約200名以上の方が来場され、お目当ての本を探しました。また、館内では、おはなしきかんしゃの皆さんによる「おはなし会」や図書館の本を使ってクイズを解く「図書館探検クイズ」、図書館友の会の皆さんによるリサイクル商品の販売が行われたほか、アンダントの皆さんによる「ふれあいコンサート」も行われ、盛りだくさんの内容に、参加された方々は楽しい一日を過ごしました。



空からの眺めにおおはしゃぎ 子ども冬まつりを開催

2月19日(日) 小清水町子ども会育成連絡協議会主催による「子ども冬まつり」が、小清水小学校グラウンドで開催されました。今年で2回目となる気球の係留フライトも行われ、乗り込んだ子どもたちは、興奮気味の様子で眼下に広がる景色を眺めていました。また、グラウンドに作られている大きな雪山では、肥料袋滑りなども行われ、子どもたちの歓声が鳴り響いていました。



被災地に対する活動状況を オホーツク絆プロジェクトパネル展示

東日本大震災被災地支援活動として昨年実施された「オホーツク絆プロジェクト」の活動様子のパネルや、活動に対する被災者からの寄せ書きなどが、1月25～31日の期間、小清水町コミュニティプラザロビーにて展示されました。被災から1年が経つ今も仮設住宅での不自由な生活が続く被災者の皆さんが大勢います。被災地の一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。



チョコレートで交通安全を 女性ドライバー集いの会が街頭啓発

交通安全の意識の向上と事故の無い安全・安心なまちになることを願って、2月14日(火) 小清水町女性ドライバー集いの会の皆さんが、国道391号線役場小公園前の交差点で、街頭啓発を行いました。バレンタインデーのこの日、交通安全を祈願したチョコレートと、真心をこめて作ったアクリルタワシを道行くドライバー一人ひとりに手渡し、「交通安全にご協力ください。」「気を付けて走行してください。」「安全運転を呼びかけました。」



TPP絶対阻止！
「小清水の未来を考える」町民集会を開催

2月7日(火) 愛ホールにおいて、JAこしみず青年部、商工会青年部の主催によるTPP絶対阻止！「小清水の未来を考える」町民集会が開催されました。集会では、東京農業大学生物産業学部 長澤真史教授による「今、なぜTPPなのか？」と題した講演が行われ、TPPの持つ危険性や問題点、その概要と背景などについての講演がありました。最後には、参加者全員で「TPP交渉参加阻止に向けた運動に、ともに取り組んで参りましょう。」と宣言が採択され閉会となりました。



雪山でのケガや遭難に態勢強化
小清水スキー場にて山岳救助訓練

1月31日(火) 斜里地区消防組合小清水分署の隊員が小清水スキー場において、山スキーやスノーボードでの利用が増えている現状を踏まえ、雪山での救助を想定した訓練を実施しました。訓練では、スノーシューを履いて、スキー場を登降したり、要救助者に見立てた隊員を担架に乗せ、頂上から下ろす訓練などを行いました。また、2月21日(火)には、実際に藻琴山で大空消防署との合同訓練を実施し、山岳救助の態勢強化を図りました。



折鶴ひとつひとつに心を込めて 小清水小学校2年生千羽鶴を折る

2月1日(水) 小清水小学校2年生の児童が小清水赤十字病院を訪れ、千羽鶴とメッセージカードを入院する患者さんへ送りました。これは、児童からの発案で取り組まれたもので、鶴はクラス全員で折ったもの。一つひとつに、「早く元気になってください。」との気持ちが込められています。また、同日、入院患者を対象に節分祭が開催されました。このようなお祭りは年に5・6回行われており、普段なかなか外に出ることが出来ない患者さんのために、季節感をあじわい、生活にメリハリをつけ元気になって欲しい事から行われています。

